

国土幹線道路部会 中間答申目次(案)

1. はじめに2. 高速道路政策の展望

(1) 直面する課題

- 1) アジア・ダイナミズムの高まりとグローバル競争の激化
- 2) 所得構造の変化
- 3) 本格的な人口減少・高齢社会の到来
- 4) 急速に進行するインフラの老朽化
- 5) 東日本大震災の教訓と我が国の国土の脆弱性、地勢的特徴

(2) 国土の目指すべき姿

(3) 自動車社会の将来像と高速道路のあり方

- 1) 自動車を取り巻く状況の変化
 - ①ドライバーや所有形態等の変化
 - ②利用の新たな動き
- 2) 自動車社会の将来の姿を踏まえた高速道路のあり方

(4) 高速道路ネットワークのあり方

- 1) ネットワーク強化のあり方
 - ①大都市・地方ブロック都市のネットワークの緊急強化
 - ②脆弱な地域の耐災性を高め、国土を保全するネットワーク機能の早期確保
 - ③物流ネットワーク強化と主要な空港・港湾等の交通拠点への連結性強化
- 2) ネットワーク利用のあり方
 - ①シームレスな利用の実現
 - i) 幹線道路ネットワークのシームレス化
 - ii) 交通機関相互のシームレス化
 - ②持続的な利用に向けた安全・安心の確保
 - ③沿道地域との連携による新たな価値の創出
 - ④利用にかかる公正・公平な負担

3. 維持管理・更新への取組

(1) 重視すべき視点

- 1) 適切な点検による現状確認と的確な補修等の実施
- 2) 長期的視点に立った点検・補修等の計画の策定と確実な実行
- 3) 維持管理・更新に係る情報の整備・共有及び発信
- 4) 必要な体制整備と新技術の開発・導入等
- 5) 大型車利用の適正化による構造物の長寿命化

(2) 更新計画の策定と計画的・安定的な資金の確保

- 1) 更新計画の策定と定期的な見直し
- 2) 更新のための資金の計画的・安定的な確保
- 3) 更新の負担のあり方
- 4) 債務の区分と償還状況などの定期的な公表

(3) 将来の維持管理負担のあり方

- 1) 混在している有料区間と無料区間の整理
- 2) 将来の維持管理負担のあり方

4. 料金制度のあり方

(1) 現行の料金制度が抱える諸課題

(2) 利用重視の料金体系の実現

- 1) 現在の料金水準の経緯
- 2) 新しい料金水準の導入
 - ① 目指すべき方向性
 - ② 新しい料金水準 「利用重視の料金」へ
 - a. 普通区間(現行水準)
 - b. 大都市近郊区間(現行水準)
 - c. 海峡部等特別区間(他の区間と大きな料金差とならない水準)
- 3) 実現に向けた取組

(3) 今後の料金割引のあり方

- 1) 現在の料金割引の経緯
- 2) これまで実施してきた料金割引の評価
- 3) 今後の料金割引のあり方
 - ① PDCAサイクルの導入による適切な実施
 - ② 料金割引の再編の観点
 - ③ 料金割引の規模

5. 機動的な交通利用を促す大都市圏の料金体系のあり方

- (1) 目指すべき方向性
- (2) 取り組むべき施策

6. その他

- (1) 国・地域の安全・安心の確保のための取組
- (2) 新たな料金徴収システムの構築
- (3) 幹線道路の将来の維持管理負担のあり方

7. おわりに